

けいじばん

○伐木造材作業研修；11月19日日曜日、受講者には里山センターより研修案内が郵送されます。なお研修サポートのため受講しない会員若干名の入林を個別にお願いいたします。

○12月活動日のご案内；12月2日(土) 12月3日(日) 主な活動メニュー；安全作業打合せ、伐採木の玉切り、きのこ植菌準備、倒木整理・観察路整備など森の整備、班活動(栽培きのこ班、木工班、植物班、シカ班、きのこ班など) リースづくり等。第一駐車場9時40分集合。

○忘年会のご案内；12月2日(土) 17:30~20:00、於国民宿舎清和、会費約1万円、宿泊なし約5千円。参加申込は11月15日までに、上記アドレス宛メール又は電話下さい。

○里山公開講座受講のお勧め；森林研究センター主催の里山公開講座は有益です。次回は11月11日和田町で開催、詳細は4頁。受講希望者は上記事務局宛本誌到着後速やかにメール又は電話下さい。

かつどうのきろく

10月29日(日) 曇 きのこ観察会 参加会員16名、中央博物館 吹春俊光氏、ゲスト7名、合計24名。

朝方までの大雨が上がり、吹春先生指導の千年の森きのこ観察会。朝のミーティングの後観察ツアー、先生の熱心なきのこ談義に聴き入りながら景観管理林〜マダケ林〜ホテイ岬を周遊。ツアーを離れて北斜面搜索の健脚組、きのこを捜し求めて森を探索するグループや単独行動組もきのこ狩りを楽しみ、昼過ぎには採集したきのこが広場に溢れた。



きのこ観察会は吹春夫妻(前列中央)、多くのゲストを迎えて大盛況

昼食後は採集・鑑定されたきのこを囲み、村野さん準備のテキスト片手にきのこの勉強会。胞子紋の色ときのこの分類、傘・柄・傘の裏・肉の性質から、採集・同定きのこの解説、数億年前のきのこの先祖の話、菌根菌と腐生菌、きのこ樹木、きのこ環境、きのこ森の話など造詣の深いレクチャーと熱心な質疑に時の経つのを忘れた。



雨後の林床に座り込みきのこを語る先生と熱心に聴き入り、観察し、接写する生徒たち

採取・鑑定され名前をついた地面いっぱいきのこ

きのこの話が尽きない先生と、初めて聴くきのこの話に熱心に耳を傾ける生徒たち



この日吹春先生が同定され種名のついたきのこは；モミジウロコタケ、カイガラタケ、チャカイガラタケ、ハナビラニカワタケ、ノウタケ、アカモミタケ、アカハツ、ニオイキシメジ、ツエタケ、コタマゴテングタケ、モエギタケ、ヌメリササタケ、コウタケ、カゴタケなど30種類を超えました。

○栽培きのこ班は収穫・収量調査、今季初収穫はクリタケ1^{kg}、シイタケは大1個のみ140g。

昼はきのこ野菜たっぷりの定番きのこ汁、鶴沢さんの焼き芋も好評、ゲストのティボーさんも交え賑やかに大パーティー。



今季初物のクリタケ



きのこ洗ってきのこ汁



昼食も大盛況



焼き芋も好評

当会設立後初のイベント・きのこ観察会は先生と大勢のゲストをお迎えし、大盛況、楽しい観察会でした。先生有難うございました。参加の皆様お疲れ様でした。

○シカ班；10月9日設置したセンサーカメラに2枚、シカが写っていました。撮影時間は10/13 18:29と18:42 夜で暗く、眼光のみ鋭く画像不鮮明なので、本誌には掲載しません。



ミヤマガマズミ 06/10/29 高塚

○植物班；きのこ観察の合間に高塚さんは植物の観察撮影を行いミヤマガマズミなど赤い実の樹木3種と白い花のコウヤボウキなど2種撮影しました。ミヤマガマズミは千葉県レッドデータブックの「重要保護植物：B」に指定の貴重種です。05年以来調査未確認でしたが当会初の確認となりました。

きのこ観察会に参加した会員から感想が寄せられましたので掲載します。紙面の都合で一部カット、ご容赦下さい。

☆腐生菌、菌根菌等々を、静かな口調で説明してくださる中で、いろいろなものが共生していることをキノコを通して、改めて感じたりしました。まずは、見過ごしてしまう小さな点々としたものが、茶わんだけというキノコだと言うことにびっくりし、「知る」と言うことは楽しく、気持ちをワクワクさせてくれました。ありがとうございました。 石井朝子

☆吹春先生の「きのこ」一筋の意気込みを感じながら、判りやすく楽しくきのこの魅力と深さを知り、この底知れぬパワーに感謝し、又ひとつ「知る」喜びを感じた一日でした。 臼井孝子

☆きのこという形で現れていなくてもこの地面にはきのこの菌がマットのようにびっしりと…雨の後の濡れた地面に膝をついて熱心に説明される吹春先生の話にひきこまれました。早速、先生の本「きのこワンダーランド」をネットで注文。高塚肇子

☆20年もキノコの研究を続けておられるとのことでしたが、吹春先生があまりにもお若い方なので驚き、自分の身近にこんなにたくさんの知らないキノコ（チャワンタケ、チャカイガラタケ、チャウロコタケ・・・）がある事にビックリ。大変楽しい一日を過ごすことが出来ました。 甲斐順子

☆今にも降り出しそうなお天気の中、栽培キノコの収穫を楽しみにしておりましたが、雨不足だったでしょうか？残念でした・・・それでも、クリタケが1キログラム。味噌汁に秋の味覚を添える事が出来ました。真鍋農場の野菜があったればこそ、彩りを保てたことも大きかったですよね。自生キノコの種類の多さに驚きです。吹春先生の長年の研究成果知識を、教えて頂きましたことに感謝いたします。もっと時間がほしかったですね。今後も、吹春先生夫妻はじめ、参加いただいた皆様、千年の森へお出かけください。お待ちしております。松本ミドリ
(追記) 真っ白な毛虫に遭遇、体を伸ばすと毛と毛の間はクロの地肌、きれいでした。

☆空模様を気にしながら「豊英島」 吹春先生をお迎えし、きのこ観察会は全員参加、島一周し「キノコ採集」昼食後、キノコ教室 キノコの胞子・傘・柄・傘の裏・肉の性質 等々 具体的に解説していただきました。千年の森は「キノコの宝庫」である。 次回の講義をお願い申し上げます。根津昌之

☆吹春先生に千年の森に発生するきのこの美しさをあまり見てもらえずに少し残念。でも会員の楽しそうな姿を見ていただけてよかったです。先生の話聞いてきのこがより身近に感じられたのではないですか？これが一番の収穫。楽しかった。村野忠夫

吹春先生の紹介で観察会に参加されたゲストの方々からお寄せいただいたメッセージを、紹介します。

☆ティボーさん（ハンガリーのベップレム大学工学部助教授、現在放射線医学総合研究所の招聘で来日中、今回の観察会では最も沢山のきのこを収集されました） (注) ?は編集者記入

きのこ観察会に参加出来て大変嬉しく思いました。あのエリアは大変素晴らしく、きのこの種類も豊富でした。私にはきのこはとても良いレクリエーションです。私の実家は森に非常に近く、子供のときは父と沢山のきのこ狩りをしました。それは単に喜びのためだけでなく、お金を得るためでもありました。大学卒業後きのこについてもっと知りたくなり、きのこを学ぶ大学のコースを修了しました。ハンガリーの私の住まいは自然の近くにあり、時間があればきのこ狩りか釣りをします。この二つの“スポーツ”は世界の色々なところで出来るのも非常に良い。きのこが日本でも大変有名？とは知らなかったのですが、その可能性を知れば大変幸せです。それは現代風、洋風化されない日本の生活様式を学ぶ非常に良い機会と思います。(網掛け部分は編集者には理解不能のため直訳) 多分先日の観察会が今年最後のきのこ狩りのチャンスだったと思いますが、もし何か良い機会があれば教えてください。私には十分な時間がありますから。草々、ティボー一揮

☆ティボーさんに同行した放射線医学総合研究所職員の吉本さん；

私は、初めての体験でしたが自然の中で時間を忘れてゆったりとした心地よい時を過ごせました。太古の昔より人類は、自然に畏敬の念を持ち自然の恵みの恩恵にあずかって、命を次の世代へと継続してきました。文明が進むにつれて自然をも自在に出来るようになったし、多くの大事なものをなくしてきました。皆様の地道な活動で豊英島の森がつくられ守られて、未永く次の世代への贈り物になっていくのであろうと思いました。きのこ汁に焼き芋と美味しく楽しくエキサイティングな一日でした。ありがとうございました。今回T i b o rさんの菌類談話会への入会をきっかけに吹春先生にお目にかかることが出来ました。そこからまた、「ちば千年の森をつくる会」の皆様の活動を知る事ができました。また一つ新しい人間関係が増えて嬉しく思っています。感謝！吉本由美子

☆中3のお嬢さんと母子で参加された姉ヶ崎の玉川さん；

昨日はみなさまに大変お世話になりありがとうございました。お陰様で10月最後の日曜日を楽しく過ごすことができました。みいちゃん(末紘)は、「おいちゃん」とのミニ冒険が特にワクワクだったようです。きのこ汁がおいしくて、おかわりをしたらトイレに行きたくなったのには困ったようですが、とても楽しい秋の思い出ができたようです。突然の参加を快く歓迎して下さいました皆様には大変感謝しています。本当にありがとうございました。私も少し写真を撮ったので添付します。機会がありましたら、また参加させて頂きたいと思います。玉川